

ライジングスターボールルーム・ラテン

U21 ボールルーム部門出場

日比野湧・和野歩未組

今回目標にしていたのは、『昨年よりも多く踊ること』

私が初めて出場した昨年は初めての海外遠征で、慣れない環境や会場、試合の雰囲気や圧迫され、いつも通りの踊りをする間もなくあっという間に終わってしまいました。

そんな去年の反省を活かしてチャレンジした今年のブラックでも、また多くの経験をすることができました。

1. どんな環境にも対応できる臨機応変さ

練習時間になると選手が一斉にフロアに出て、ルーティンを確認するのがやっとな、というくらいの狭いフロアで私達はただステップを踏みルーティンを確認してぶつからないようにと周りを気にして練習していました。

しかし一度フロアの外に出て見回した時、多くの選手、いやほとんどの選手がこの狭いフロアでポジションやルーティンの確認はもちろん、アームの使い方、ネックライン、アクション、ムーブメントなど… 全ての練習をこなしていました。

ぶつからないように踊ることプラス、ここでどのように踊るか。

これは国内の大会の際でも言える事だと思います。どんな環境でも臨機応変に対応する冷静さや判断力も、大会で良い踊りをする事に繋がると感じました。

2. コミュニケーション力

ここで言うコミュニケーションは、カップル間でのコミュニケーションです。

多くの選手が、『こうしてほしい』『ここがやりづらい』『私はこう踊りたい』と自分の意見をお互いにはっきり伝えていました。

そして印象的だったのは、“尊重し合う”ということです。上手くいったときに良くなったと伝える、次のラウンドに残れば一緒に喜ぶ、励まし合う、タンニングを塗ってもらったりドレスのフックをとめ



てもらったり… どんな些細なコミュニケーションでも、それによってカップル間の信頼関係や踊りへの一体感が生まれるのではないかと思います。

2人で踊る競技ですから、1人で頑張ることはできません。相手が居てこそ ですから、一緒に踊ってくれる事に感謝して2人の間に良い関係を築くことができれば踊りも変わってくるのでは… と感じました。

3. 表現力

踊っていても、選手たちが放つオーラに圧倒されました。出番を待つ姿勢、フロアに立つ姿、歩き方、踊っているときの表情や曲の表現の仕方…

こんな選手たちの中にいるだけで、踊る前から気持ちで負けそうになりました。



昨年感じたこれらの事から、気持ちで負けないように、会場に入るところから入った後まで常に歩き方を意識する。フロアに立ったら周りの選手は見ずに、自分たちの雰囲気作りに集中する。みんなが自分を見ている！と会場の雰囲気や音楽を楽しんで踊る。

など、自分なりに考えて今回のブラックに挑みました。

これらはブラック後の国内の大会でも実践し、気持ちで負ける事なく決勝まで踊り抜くことができました。



一度目のブラックは、ただただ圧倒されるばかりでしたが、今回のブラックではダンス以外の面でも多くのことを学び吸収することができたと思っています。

ダンスのレベルの高さはもちろんですがそれよりも、上手くなるには技術の向上だけではないということ。人間性を磨くこともダンサーとして必要なことだと知ることができました。

ブラックプールを二度も経験できたことを財産にし、学んだことをこれからの大会で実践していきたいと思います。

和野歩未

今回ユースとして2回目の出場でした。出発の飛行機の中ではずっと緊張をされていてあまり寝れませんでした。

そして初日はライジングスターの予備予選でした。前回ラテンは一次予選で落ちてしまっていたので次の日の2日目までいきたいなと思って踊っていました。スタンダードもラテンも2日目まで勝ち残ることができチェック表を見たときの嬉しさはまだ忘れることはできません。

そして2日目2次予選になるとまた一段とレベルが上がりビックリしました。ですが自分の踊りに集中

してなんとスタンダードは次の日の3次予選まで行くことができました。去年の自分に勝てたことはとても嬉しく思い3次予選は楽しく踊りました。もう少し人にぶつからずにスムーズに踊れたらもう一回踊れたかもなど少し後悔もありつつ次のユースは、全力で頑張っていくと思い毎日朝練習をしてユースの日まで準備していました。

そして、ユースアンダー21の日がきました。僕はドキドキが止まらずに頭が真っ白になりました。1次予選僕は観客・審査員にアピールを意識してに踊りました。2次予選はスムーズに踊ることを意識して踊りました。去年の自分には順位は上がったものの踊る回数は去年と一緒でした。あともう一回踊れたらと何回も思いました。もう少し運動が大きければよかったのになど思いブラックプールの試合が終わってしまいました。

そして今回はプロのボールルームまで見て帰れることになりとても嬉しくとても刺激を受けた日になりました。プロはスピード感安定感リズム感がすべてバランスよく踊り将来はこの場所でこのような踊りがしたいなと思いに思いました。

今回のブラックプールで学んだこと・ワルツはナチュラルターンのスピード、ダイナミックサがとても優れていました。タンゴはすごい重く決めた後の緩急がすごく優れていました。スローフォクスストロットは、止まることなく滑らかな踊りでした。クイックステップは、弾むことがなく重たいクイックステップでした。今後の人生に全て生かしていけるように日々努力し日々成長していけるダンサーを目指したいなと改めて感じさせてくれた場所でした。また今回、JAL アマチュアリーグ様のお陰で大変いい経験が出来たことを心より感謝いたします。これからの自分にとっても役立っていくものなので一つ残らず達成していけるよう頑張ります。本当にありがとうございました。

日比野 湧